

2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東京地下鉄株式会社
---------	-----------

本年度整備費	7,674 百万円
--------	-----------

※すべての整備費を合計したのち、百万円未満を切り捨てた金額としているため、様式2-2の整備費の合計と同じにならない。

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	7 駅	14 番線	日比谷線 築地駅ほか 6 駅
段差隙間縮小に資する設備	8 駅	16 番線	日比谷線 人形町駅ほか 7 駅
バリアフリースイッチ	1 駅	1 ヶ所	銀座線 浅草駅
車両のフリースペース	3 編成	26 両	東西線 2 編成、南北線 1 編成
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	14	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	14,782 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	9,879	4,902	—
備考			

本年度までの累計整備費	22,283 百万円
本年度までの累計徴収額	15,213 百万円

2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	20 駅	42 番線	別紙参照	2,882 百万円
エレベーター	5 駅	9 基	別紙参照	285 百万円
エスカレーター	1 駅	13 基	別紙参照	0 百万円
段差隙間縮小	12 駅	24 番線	別紙参照	196 百万円
バリアフリートイレ	4 駅	4 ヶ所	別紙参照	84 百万円
車両のフリースペース	3 編成	26 両	別紙参照	35 百万円
その他		1 駅	別紙参照	1 百万円
備考	段差隙間縮小：嵩上げ、くし状ゴム、可動ステップ その他：点状ブロック			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	23 駅	46 番線	別紙参照	465 百万円
エスカレーター	9 駅	20 基	別紙参照	1,231 百万円
案内サイン		一式	別紙参照	53 百万円
備考	案内サイン：三ノ輪駅等			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費		2,398 百万円		
収受システム改修費		40 百万円		
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		2 百万円		
備考	・維持管理費：ホームドア・エレベーター・エスカレーター等			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2023年度 バリアフリー整備等実績（詳細）

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	区分	供用	整備駅名	備考
ホームドア	新規	○	日比谷線 築地 駅	
	新規	○	日比谷線 人形町 駅	
	新規	○	日比谷線 小伝馬町 駅	
	新規	○	日比谷線 三ノ輪 駅	
	新規	○	日比谷線 入谷 駅	
	新規	○	日比谷線 恵比寿 駅	
	新規	○	日比谷線 南千住 駅	
	継続	—	東西線 茅場町 駅	
	新規	—	東西線 落合 駅	
	新規	—	東西線 西船橋 駅	
	継続	—	東西線 中野 駅	
	継続	—	東西線 木場 駅	
	継続	—	東西線 南行徳 駅	
	継続	—	東西線 浦安 駅	
	継続	—	東西線 行徳 駅	
	継続	—	東西線 妙典 駅	
	継続	—	東西線 原木中山 駅	
	継続	—	半蔵門線 水天宮前 駅	
	継続	—	半蔵門線 住吉 駅	
	継続	—	半蔵門線 清澄白河 駅	
継続	—	東西線	定位置停止装置	

2023年度 バリアフリー整備等実績（詳細）

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	区分	供用	整備駅名	備考
エレベーター	新規	—	日比谷線 人形町 駅	二経路以上確保
	継続	—	東西線 南砂町 駅	二経路以上確保
	継続	—	副都心線 池袋 駅	二経路以上確保
	継続	—	銀座線 浅草 駅	二経路以上確保
	継続	—	日比谷線 築地 駅	二経路以上確保
エスカレーター	継続	—	東西線 南砂町 駅	
段差隙間縮小に資する設備	新規	○	日比谷線 人形町 駅	くし状ゴム
	新規	○	日比谷線 小伝馬町 駅	くし状ゴム
	新規	○	日比谷線 秋葉原 駅	くし状ゴム
	新規	○	日比谷線 恵比寿 駅	くし状ゴム
	新規	○	日比谷線 入谷 駅	くし状ゴム
	新規	○	日比谷線 虎ノ門ヒルズ 駅	くし状ゴム
	継続	○	日比谷線 三ノ輪 駅	くし状ゴム
	継続	○	日比谷線 南千住 駅	くし状ゴム
	継続	—	日比谷線 築地 駅	くし状ゴム
	継続	—	日比谷線 銀座 駅	くし状ゴム
	継続	—	日比谷線 東銀座 駅	くし状ゴム
	新規	○	日比谷線 恵比寿 駅	可動ステップ
	新規	○	日比谷線 南千住 駅	可動ステップ
	新規	—	東西線 西船橋 駅	可動ステップ
バリアフリースイレ	継続	○	銀座線 浅草 駅	
	新規	—	日比谷線 人形町 駅	
	継続	—	銀座線 未広町 駅	
	継続	—	日比谷線 築地 駅	
車両のフリースペース	継続	○	東西線	東西線05系2編成
	新規	○	南北線	南北線9000系1編成
その他	新規	○	丸ノ内線 新宿御苑前 駅	点状ブロック

2023年度 バリアフリー整備等実績 (詳細)

整備実績				
(2) 更新費				
設備名	区分	供用	整備駅名	備考
ホームドア	継続	○	有楽町線 江戸川橋 駅	
	継続	○	有楽町線 桜田門 駅	
	継続	○	千代田線 綾瀬 駅	
	新規	○	南北線 志茂 駅	
	新規	○	南北線 王子神谷 駅	
	新規	○	南北線 王子 駅	
	新規	○	有楽町線 銀座一丁目 駅	
	継続	○	有楽町線 新富町 駅	
	新規	○	有楽町線 豊洲 駅	
	継続	○	有楽町線 東池袋 駅	
	継続	○	有楽町線 護国寺 駅	
	継続	○	有楽町線 江戸川橋 駅	
	継続	○	有楽町線 飯田橋 駅	
	継続	○	有楽町線 市ヶ谷 駅	
	継続	○	有楽町線 麴町 駅	
	継続	○	有楽町線 永田町 駅	
	継続	○	有楽町線 有楽町 駅	
	継続	○	千代田線 二重橋前 駅	
	継続	○	千代田線 日比谷 駅	
	エスカレーター	継続	○	千代田線 代々木公園 駅
継続		○	千代田線 湯島 駅	
継続		○	千代田線 大手町 駅	
継続		○	千代田線 表参道 駅	
新規		○	東西線 茅場町 駅	
継続		○	千代田線 霞ヶ関 駅	
継続		○	有楽町線 小竹向原 駅	
継続		○	半蔵門線 半蔵門 駅	
継続		○	東西線 木場 駅	
案内サイン	継続	○	有楽町線 麴町 駅	
	継続	○	有楽町線 永田町 駅	
	継続	○	有楽町線 新富町 駅	
新規	○	半蔵門線 永田町 駅		
新規	○	三ノ輪駅等	一式契約	

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	36番線	44%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	44%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	14番線	62%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	6番線	69%	0駅	0%	3駅	60%
2025年度	25番線	100%	0駅	0%	2駅	100%
累計	81番線	100%	0駅	0%	5駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2027年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2028年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2029年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2030年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2031年度	3番線	100%	駅	%	駅	%
累計	3番線	100%	駅	%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
東西線及び半蔵門線の可動式ホーム柵システム（本体・可動ステップ）一式 【東西線】 中野駅2番線、落合駅2番線、茅場町駅B線1番線、木場駅2番線、南砂町駅B線1番線、浦安駅2番線、南行徳駅2番線、行徳駅2番線、妙典駅4番線、原木中山駅2番線、西船橋駅4番線 【半蔵門線】 水天宮前駅2番線、清澄白河駅2番線、住吉駅2番線	同一路線における統一的な運用、取扱い及び保守の効率性を確保し、運行の安定性を図る必要があるため、先行設置駅の既契約メーカーの可動式ホーム柵と同一メーカーとする必要があるため、特命随意契約とした。	過去実績との比較、価格交渉 直近の実績としては、2018年12月（東西線大開口仕様）及び、2019年3月（半蔵門標準開口仕様）があり、本契約では、標準開口仕様の見積もりを徴収し、2019年3月時の実績と比較し、価格交渉を行った。	2,525 百万円
東西線ホームドア導入に伴う中野駅ほか21駅車両情報伝送装置設置工事 【東西線】 中野駅2番線、落合駅2番線、高田馬場駅2番線、早稲田駅2番線、神楽坂駅2番線、飯田橋駅2番線、九段下駅2番線、竹橋駅2番線、大手町駅2番線、日本橋駅2番線、茅場町駅2番線、門前仲町駅2番線、木場駅2番線、東陽町駅2番線、西葛西駅2番線、葛西駅2番線、浦安駅2番線、南行徳駅2番線、行徳駅2番線、妙典駅4番線、原木中山駅2番線、西船橋駅4番線	車両情報伝送装置の設置工事であり、当該装置の構造・機能に精通している必要があり、当該装置の製造取引先でなければ施工することができないため、特命随意契約とした。	積算、価格交渉	440 百万円
半蔵門線ホームドア導入に伴う水天宮前駅ほか2駅ホームドア設備調査業務 【半蔵門線】 住吉駅2番線、水天宮前駅2番線、清澄白河駅2番線	予算価格が少額であるため、特命随意契約とした。	見積徴収、価格交渉	2 百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。